

かなざきひさを応援する会・会報 29 号 事務局 上山口 1878 番地の 9

Tel & Fax 878-7961 携帯 090-4076-2425 E-Mail kanazakihi@jcom.home.ne.jp

葉山町議会第 4 回定例会が開催されました。期日平成 17 年 11 月 29 日～12 月 7 日

- ・ 人事院勧告に基づき、町職員の給料の改定を行う議案が提出されました。
一般職の職員の給与を下げて、ボーナスを上げるものです。
議員の報酬に関しては、今回は変更しないことといたしました。
- ・ 電算機・車など町がリースするものに関して、長期継続契約を締結することができるようになりました。
- ・ 住宅に住宅用防災警報器又は住宅用防災報知設備の設置が義務づけられました。
既存住宅に対する義務づけの適用は、平成 23 年 6 月 1 日から行うこととし、広報はやまなどで PR いたします。
- ・ 葉山町で建設中の（仮称）保育園・教育総合センター複合施設が、今話題の民間による確認申請許可がなされておりました。町としてはすぐに対処し、設計事務所に対し更なる安全確認を行いました。そして更なる安全性の再確認のため、第三者機関による構造計算書の確認手続きをとっております。

○ かなざきひさの一般質問

(1) ごみ問題について

葉山町で清掃費の占める割合は 12.5% です。いわゆる一般会計 100 億 2338 万 1 千円の内、12 億 5060 万 1 千円を費やしているということです。教育福祉常任委員会としてごみ行政の先進地である岐阜県多治見市の視察をして参りましたので、今回はごみ問題について質問をしました。

質問と提案	理事者側の答弁
横須賀・三浦・逗子・鎌倉の 4 市と葉山町とのごみ処理広域化の方針が決定される首長会議の予定は。	今月 26 日に予定されている。(町長)
12 月末までに広域化の方針を出すという約束であるが、押し詰まっており、26 日に一定の方針が示されることに間違いはないか。	事務レベルでの検討は重ねており、26 日の首長会議で最終的に一定の方向性を見出さなければならぬと思っている。(町長)
今、真剣にやらなければならないことはごみの減量化である。18 年 10 月に大幅な改正が行われるがそのプランは。	容器包装プラの分別と事業系ごみ戸別収集の廃止、ミックスペーパーやプラスチックなどの収集日の改善を考えている。(福祉環境部長)
ごみについては町民ひとりひとりのご協力なくしては成り立たない。改正案に対する民意の反映はいかにするのか。	全て収集形態が固まった上で町民に周知しようとは考えていない。ごみ減量化推進委員、環境モニター、町内会などの意見を聞き、ある程度の案をまとめる必要がある。(福祉環境部長)
容器包装プラの分別は、資源として活かせるフローチャートをはっきりさせた上での分別か。	処理については今検討中である。(福祉環境部長)

質問と提案	理事者側の答弁
分別していただいた以上はその努力が報われる対処をしなければならない。	プラスチックの処理方法は定まっていない。 (福祉環境部長)
町民に方に無駄なことをさせないで有効な分別の方法を指導するのが行政に課せられたことと思うが。	分別した後の処理については、例えばこのようにな物に生まれ変わるといように判りやすく説明をしていきたい。 (福祉環境部長)
多治見市では分別したミックスペーパーでトイレットペーパーを再生させ、多治見ブランドとして売っている。分別した資源が葉山ブランドとして目に見える形で再生されると、町民の分別意欲が高まると思うが。	100%に近い再利用を前提にしなければならないと考えており、新たな対応を模索して参りたい。広域対応での処置に是非盛り込んでいきたい。 (町長)
ミックスペーパーの収集委託費用は量に関係なく一定の委託料を払っているのか。	そのとおりである。 (福祉環境部長)
ミックスペーパーのステーション収集処理委託費用は1043万3千円である。週2回868カ所のステーションを回る手数料かと思うが、収集量に比例した委託料を設定できないのか。	もう少し調べさせていただきたい。 (福祉環境部長)
多治見市では38人の職員で全ての収集を行っており、委託は高くつくという考えを持っている。葉山町の収集職員の人数は。	21人である。 (福祉環境部長)
人口10万人の多治見市と葉山町はごみ処理費用が同額である。自助努力が必要と思うが。	多治見市に詳しくお聞きして参考にさせていただきたい。 (福祉環境部長)
町内に住民票をおかないで住んでいる人も多いと聞く。ごみ袋の有料化で受益者負担をお願いすることも必要ではないか。	今の形がベストとは思っていないので、先進事例を研究しながら新たな対応も視野に入れつつごみ問題全般を考えていきたい。 (町長)
12月は不法投棄防止月間と位置づけ不法投棄防止ステッカーを町民に配布しているが、何枚配布の予定か。	2000枚用意した。 (福祉環境部長)
ごみ減量化推進委員等の活用について、ご意見を伺うだけでなく、分別指導などさまざまなご協力をお願いできるのか。	ごみ収集方法の形態を変える時期にステーションに立ち、指導をお願いする機会があると考えている。 (福祉環境部長)
多治見市では全職員がステーションに立ち、指導をしている。ごみ問題は環境課だけの問題ではないと思うが。	多くの方々のご理解とご協力なくしては前に進んでいけないごみ問題である。そのためのひとつの手法として大きな要素がある。職員総動員でステーションに立つということも念頭に置きつつ真剣に取り組んでいく必要がある。 (町長)
三浦半島中央道トンネル内のごみ掃除の回数を増やして欲しいと県に要望をして欲しい。	そのように県に要望する。 (都市経済部長)
<p>かなざきひさの考え 町税の伸び悩みで来年度は各種団体への補助金が15%カットになる可能性があります。不必要な補助もあります。そのために盛り上がりや失う行事も考えられます。安易に補助金一律カットではなく、行政として自らの経費節減の努力が必要であると訴えました。特に清掃費は10万都市の多治見市と3万2000人の人口の葉山町が10億円という同額の経費をかけていること自体問題です。真剣に洗い直しをすることを願いました。</p>	

年齢を重ねると、飛ぶように月日が経ってしまいます。2005年も終わりを迎えようとしておりますが、子供達を取り巻く悲惨な事件が次々と報道され、目も耳も覆いたくなる心境です。来年こそ穏やかな年でありますように、そして葉山町の安心・安全な町づくりに気合いを入れて取り組みたいと思っております。

良いお年をお迎え下さい。

金崎ひさ